

設計者の網田さんが美しさにこだわったという切妻の屋根には、OMソーラーの集熱ガラスが見える。外観は時を経るごとに、雑木林にさらになじんでいくだろう。

特集・木の家の「断熱」が知りたい！

2・セルロースファイバー

福岡県朝倉市・K邸

太陽のぬくもりを感じる暮らし



山間の温泉地に住まいを構えたKさん一家。雄大な自然に恵まれた立地で、自然の力をうまく活用し、快適に暮らす。そんな工夫に溢れる住まいを訪れた。

設計✤網田一久（㈲アミ環境デザイン）
施工✤㈱安成工務店
写真✤垂見孔士



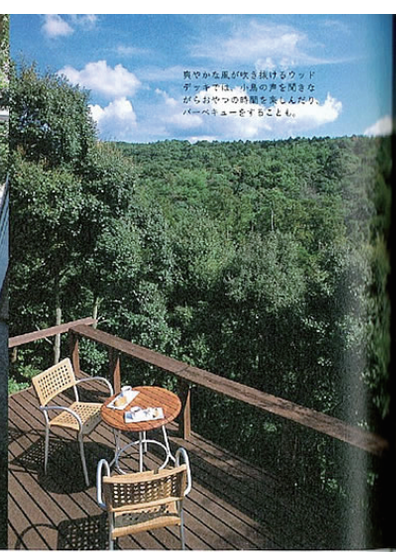


陽の光が差し込む温かい土間で、ゆったりと空や緑と対話する

土間のサンルームは、テラスへと続き、庭につながる。冬は差し込む光と薪ストーブで暖かく、夏はひんやりと風が通り抜けるに地よい場所だ。この家に住んでからガーデニングに目覚めたというご主人。夫婦で庭仕事を楽しむ。



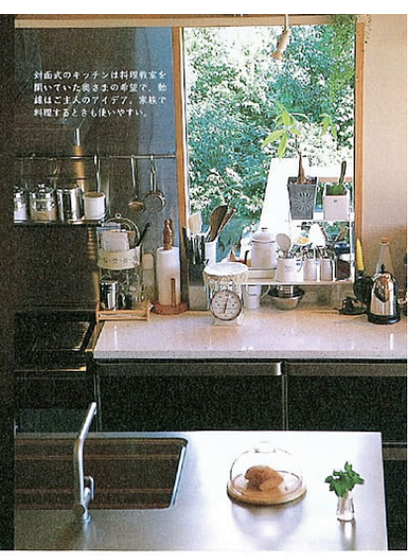
お風呂は美肌によい温泉水。この水は、アルカリ性のためか掃除がしやすいうえ、食材のアク抜きにも使えるそうだ。



爽やかな風が吹き抜けるウッドデッキでは、小鳥の声を聞きながらおやつの時間を楽しんだり、バーベキューをすることも。



東南に面するキッチンの窓からは、山々の緑が見渡せる。キッチンツールや調味料などがセンスよく並ぶ。



対面式のキッチンは料理教室を開いていた奥さまの希望で、勉強はご主人のアイデア。家族で料理するときも使いやすい。

福岡市内から東南へ30分ほど車を走らせると、山の斜面を造成した分譲地の一角に、「遥空荘（ようくうそう）」のプレートが掛かるK邸が見えてくる。周囲の山林が見渡せる地に建つ。

北海道から仕事の都合で福岡に来たKさん一家が、家づくりを考えたのは4年前。福岡の住みやすい環境が気に入り、家を建てることにした。土地を決めた後、インターネット上で設計コンペを行う会社にプランを依頼し、集まった数十件の中から、アミ環境デザインの網田一久さんのプランに決めた。

「自然を生かした木の家を」というKさんの希望は、網田さんの家づくりのコンセプトに通ずるものだった。さらに「無駄な空間をなくし、いかにコンパクトにするかを考えた」と網田さん。段差を生かし、ダイニング・キッチンの隣には、一段低い土間のサンルームを設けた。穏やかな陽の光が差し込むサンルームは、テラスへ、そして庭へとつながっている。サンルームのソファに腰掛けると、大きな開口部から空も緑も目に入る。

K邸では、緑豊かなロケーションだけではなく、風や太陽など自然の力を暮らしに生かす工夫が随所に見られる。その一つに、太陽によって屋根面で暖められた空気を床下に回し暖房に利用する、OMソーラーシステムの導入がある。サンルームの薪ストーブに火を入れれば、さらにぽかぽかと暖かい。「冷え込んだ朝でも室温が20℃を切ることがなく、底冷えしないんですよ」と実感を語る奥さま。

軒の出を深くしたことで、夏の日差しは遮られる。窓を開けると風が通り、床もひんやりと感じるそうだ。一方、冬はサンルームに日差しが入り温かい。また陽の当たる南側の地階には、段差を生かし、乾燥に便利なドライエリアを設けた。

新聞紙の断熱材で温かく

K邸を施工した安成工務店では、新聞紙をリサイクルしたセルロースファイバー（木質繊維）を断熱材に使用している。その存在を知った安成工務店の安成信次社長は、1994年に自邸で導入した。当時の現場監督が網田さん。「布団にくるまれたような暖かさに驚き、以来、極力すすめています」と網田さんは語る。









右から／風に揺れる庭のオリーブの枝。／料理が得意な奥さまお手製のシフォンケーキ。／愛犬サラの居場所はサンルーム。冬は暖かく、夏は涼しいこの場所の居心地の良さがわかっているようだ。／草花をさりげなくテーブルに。







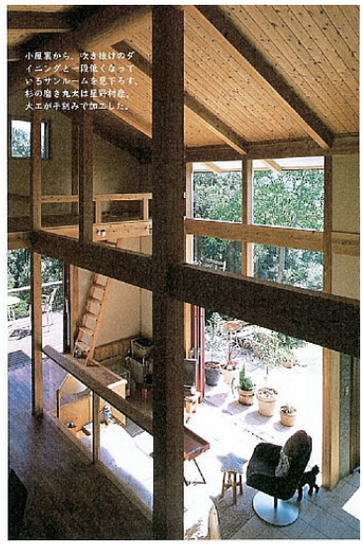


右端／インターホンには時を経るほどに深い味わいとなる銅製の「遥空荘」のプレートが掛かる。設計者の網田さんからのプレゼント。　右から3番目／多彩な趣味を持つ奥さまによるそづくりの椅子。ゆったりと座掛けながら、庭を眺めるのにちょうどよい。

そして安成社長は、セルロースファイバー断熱材を施工する傍デコスを設立。2005年には、同社内にセルロースファイバーを生産する工場も設立した。地元で古新聞を回収し、綿のような状態に加工した「デコスファイバー」として、リサイクルする仕組みを確立した。

断熱材にセルロースファイバーを選択した理由について、吸放湿性なども含めた性能のほかに、「家の解体後を考えると、他の素材ではリサイクルできるかどうか不明で、後々処理に高くつくのではないかと思ったのです」と、安成工務店の佐々木隆さんは数十年先をも見据えた話を語ってくれた。デコスでは、一度施工した「デコスファイバー」を回収し、再度断熱材として使用するプロセスを用意している（44頁参照）。

OMソーラーやセルロースファイバーによる断熱など、太陽と風、豊かな自然の眺めを生かしたK邸。ウッドデッキからは、深い緑が見渡せた。秋には紅葉、初夏には蛍が飛ぶ様など、季節を間近に感じるそうだ。「ここでおやつを食べたり、お月見をしたりします」と奥さま。自然と一体となって暮らしたいというKさんの願いが形になった家といえる。


小屋裏から、吹き抜けのダイニングと一段低くなっているリビングへ。小さな丸太は星野村産、大工が手刻みで加工した。

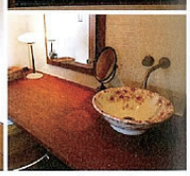

リビングからダイニングとキッチンを見る。天井の高い開放的な空間は、周囲の豊かな自然に包まれ、家はウォールナット、壁は珪藻土。ダイニングはウッドデッキへもつながる。



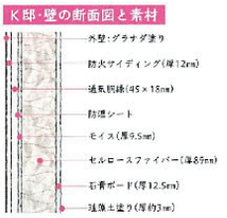
玄／畳敷きのリビング。壁は柿渋を塗った和紙張り。上／OMの吹き出しには床材の残材を使った。上げ下げ障子を上げると風が通る。


ウォーターフォード社製の薪ストーブ「アッシリング」。ダッチオーブンを使い、火に任せて煮込んだり焼いたりするそうだ。




右上／集さまが探し求めたアンティークのステンドグラス。　右下／オーダーの有田焼の陶器ボウルには鮭緑が描かれている。こうした奥さまのセンスや、ご主人の空間に対するこだわりが調和されによって生かされた。　左／螺旋の階段はロフトに続く。ご主人が一人で籠も書けるスペースなのだそうだ。

K邸・壁の断面図と素材





DATA
- 所在地　福岡県朝倉市
- 家族構成　夫婦＋子ども2人
- 延床面積　179.60㎡（1階102.21㎡　2階77.22㎡　地階17.66㎡）
- 敷地面積　宅地部分772.71㎡、山林部分993㎡
- 施工　2005年9月（工期2005年1月～9月）
- 設計　有アトリエ環境デザイン　☎092-924-1577
- 施工　新家庄工務店 福岡営店　☎092-(33)-1177
- 構造形式　木造在来工法
- 主な外部仕上げ
屋根／ガルバリウム鋼板
軒天井／ケイ酸カルシウム板
外壁／防火サイディング下地　ダラナダ塗り
- 主な内部仕上げ
天井／杉小幅板　壁／珪藻土塗り
床／ウォールナットフローリング

取材・文　新堂由美美